

グラウンドパーテーション® シリーズ

Fencewall

フェンスウォール®

取扱説明書

1. 輸送・保管時の注意事項
2. 施工方法
施工手順
3. 標準施工図
1 スパン = 2メートルの場合
1 スパン = 1メートルの場合
根固めコンクリート寸法表
組立図寸法表
4. 土留め施工について
5. 施工時の注意事項
6. 製品について

1. 輸送・保管時の注意事項

- ① 柵板・土圧板の輸送・保管の際は必ず**立てた状態**（※図1）にして下さい。



【図1 良い例】



図2 悪い例
(角材が無い場合でも割れます)

- ② カド欠け防止の為、図の様に角材を入れる。
③ 輸送時、図1の状態のまま動かないよう、ロープ等でトラックの荷台に固定する。
④ 保管時、図1の状態のまま倒れないよう、ロープで巻く等の措置をとる。

2. 施工方法

施工手順は以下の通り行ってください。

1 掘削作業  <p>フェンスウォールの柱を建てる為の穴を掘ります。</p>	2 柱の設置  <p>柱を建てます。柱と柱の間隔を正確に測ります。</p>	3 生コン打設  <p>コンクリートを流し込み、柱の根固めをします。</p>	4 柱設置完了  <p>必要な数の柱をすべて設置します。</p>
5-1 柵板設置 (2人持ち)  <p>設置した柱に柵板を差込み板目地を打ちます。</p>	5-2 柵板設置 (重機使用)  <p>重機を使用する事によってより楽に施工が出来ます。</p>	6 目地打ち  <p>柱と柵板の継ぎ目を埋めていきます。</p>	7 施工完了  <p>フェンスウォールの施工完了です。</p>

3. 標準施工図

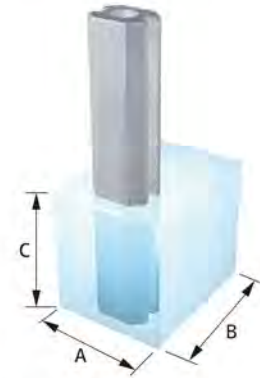
1 スパン=2メートルの場合



1 スパン=1メートルの場合



- ※ 柱と柵板の空隙は7.5mm
- ※ 柵板と柵板の目地は5mm
- ※ 2メートルスパンの施工をする時は柵板の入る箇所の長さは1895mm
- ※ 1メートルスパンの施工をする時は柵板の入る箇所の長さは895mm
- ※ それ以外のスパンを施工する時は
柵板が入る箇所の長さ-15mmに柵板をカットして下さい。



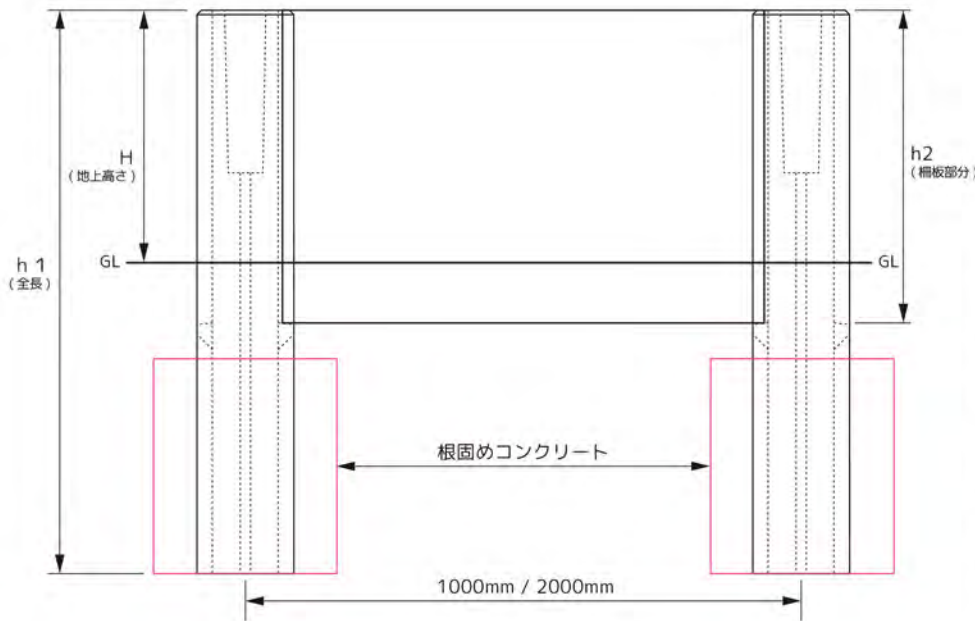
↑ 根固めコンクリート寸法表 (単位 mm)

全高 (地上高)	A	B	C
~1500	260	400	350
~2000	310	400	350

※ 全高とは上部に設置するフェンスを含めた高さです。

← 組立図寸法表 (単位 mm)

	H(地上高さ)	h1 (全長)	h2 (柵板部分)	柵板組み合わせ
1番	~300	800	400	H400x1
2番	~700	1200	805	H400x2
3番	~1100	1600	1210	H400x3



4. 土留め施工について

- ※ 土留めとして施工する場合は、使用する柵板を **土圧板** にして下さい。
- ※ より強固な土留めにする場合は、
1スパンを1メートルにして下さい。
- ※ 盛り土側は右図の通り、土圧板の凸側です。



5. 施工時の注意事項

- ① 施工の時、**横置きは厳禁**です。
最後の一枚まで必ず**立てた状態**にして下さい。



- ② 持って移動する時、**横置きは厳禁**です。必ず**立てた状態**で運んで下さい。



- ③ 施工直後、**過度な転圧は厳禁**です。
土留めとして施工した場合、柱や柵板周辺に対するランマやプレートなど転圧機の使用は厳禁です。



- ④ 汚れた手袋での製品の取り扱いはしないで下さい。
製品にさわるときは、必ず綺麗な手袋に取り替えてから作業して下さい。



- ⑤ 製品に汚れが付いた場合は水洗いして下さい。又、それでも落ちない場合
コンクリート専用の洗浄剤を使用して下さい。(当社に在庫あり)



- ⑥ フェンス支柱穴にフェンス柱を固定する時、通常はモルタルを使用
しますが、急結材などの混和剤を使用する場合はご注意下さい。
膨張してフェンスウォール自体が破損する場合があります。



6. 製品について

フェンスウォール用柵板・土圧板にて横方向に走るクラック
(右図赤部分)が発生している製品がありますが、製造過程に
おいて出来てしまう沈下クラックです。

製品不良ではありませんのでご了承下さい。

